



多文化親子ひろば ~つながろう!ひろげよう!こどもの輪~





事業分野 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業

■実施団体

(団体名)一般社団法人磐田国際交流協会 (所在地)静岡県磐田市見付2989番地3

- 一般社団法人磐田国際交流協会(いわたICE)
- ■事業期間 2024年11月~2025年3月
- ■対象国・地域 静岡県磐田市福田地区および周辺地域
- ■事業目標

同じ地域に暮らす就学前の外国につながる親子と日本人 親子が様々な生活、文化体験を通して互いに交流する機会 をつくり、磐田市内の外国人集住地域において多文化共生 社会の構築を図る。

■事業内容

就学前の親子対象の体験型交流プログラム実施(全5回)

■事業実施の背景

磐田市福田地区に居住する外国人の数は年々増加しており、要日本語指導の子どもの割合が非常に高くなっている。外国につながる子どもたちは、ことばの壁や幼少期の生活体験、集団生活の経験が乏しいことで学校生活への適応や学習の積み上げに困難が生じ、学級や地域で孤立してしまうケースが見受けられる。このような状況をふまえ、福田地区および周辺地域にて外国につながる親子と日本人親子がつながる居場所づくりを実施する。

団体のこれまでの取り組み

2005年4月に磐田国際交流協会を設立。文化庁、磐田市受 託事業として日本語教室を企画・運営、また磐田市教育委員 会より「外国人児童生徒等学習支援事業(JSLサポート)」を 受託し、市内の小中学校で外国につながる子どもたちの日本 語、学習支援を行ってきた。さらに2016年からは一般社団法 人磐田国際交流協会として地域の多文化共生社会の構築を 目指しさまざまな交流事業も展開している。

事業実施の工夫点・成果

プログラムには外国につながる親子59名、日本人親子69名(累計)が参加。就学に役立つ講座の実施を通して、国籍やルーツを超えて地域の親子が共につながる場所を提供し、参加者双方が互いにもっと交流したいと考えていることが確認できた。各回の講師や支援者、ボランティアも市内在住者を起用し、同じ地域で暮らす外国につながる方々と交流が持てるよう工夫した。実施団体としても、本事業の実施により参加者、行政担当課や関係機関とつながったことで、就学前の親子や地域の人たちの多文化共生に対する意識や取り組みの現状が確認でき、地域の課題とニーズに寄り添った事業を展開するための重要なはじめの1歩を踏み出すことができた。



